

平成 22 年 11 月 4 日

各 位

会 社 名 光ビジネスフォーム株式会社
 代表者名 代表取締役社長 林 陽一
 (コード 3948)
 問合せ先 経理部長 中沢 徳夫
 (TEL 03-3348-1435)

繰延税金資産の取崩し及び業績予想の修正並びに 期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は平成22年12月期第3四半期会計期間において、繰延税金資産を取崩すこととなりました。また併せて平成22年2月12日に公表いたしました業績予想及び平成22年12月期配当予想につきまして、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 繰延税金資産の取崩しについて

当期の業績見通しを踏まえて、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、当期末において十分な課税所得が見込めないため、当第3四半期会計期間において繰延税金資産の一部を取崩し、法人税等調整額に119百万円を計上いたしました。

2. 平成 22 年 12 月期 業績予想の修正等

(1) 平成 22 年 12 月期通期業績予想値の修正 (平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	7,300	730	740	400	69 円 02 銭
今回修正予想 (B)	6,800	380	380	110	18 円 98 銭
増減額 (B - A)	△500	△350	△360	△290	—
増 減 率	△6.8%	△47.9%	△48.6%	△72.5%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 12 月期)	7,000	649	656	354	61 円 16 銭

(2) 修正の理由

当第3四半期累計期間における業績は、売上につきましては前年同期4.3%減、そのうちビジネスフォームが前年同期3.5%減、データプリント及び関連加工が前年同期5.0%減となりました。また競争激化による収益率の低下もあり、この結果各種利益につきましても前年同期を下回って推移しております。第4四半期におきましても厳しい受注環境となる見込みであり、また繰延税金資産の取崩しが119百万円ありましたため、当初の業績予想を下回る見込みとなりましたので、上記のとおり通期業績予想を修正いたします。

3. 平成22年12月期 期末配当予想の修正

(1) 修正の内容

(基準日)	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
前回予想 (平成22年2月12日発表)	—	—	—	30円00銭	30円00銭
今回修正予想	—	—	—	15円00銭	15円00銭
当期実績	—	—	—	—	—
前期(平成21年12月期)実績	—	—	—	30円00銭	30円00銭

(2) 修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の1つとして株主重視の姿勢で配当を行うことを基本方針としております。当期におきましてもその方針に基づき、当期の配当を30円00銭と予想しておりましたが、前述のとおり、当初の業績予想を下回る見込みとなりましたので、当期の配当予想を15円00銭に修正させていただきます。

※上記の予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上